



神奈川県イグレンニュース

<第194号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県中小企業センタービル7F
 Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2019年1月号

イベントのお知らせ

→ 第79回 西湘サロン

日時	平成31年3月11日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	<p>話題：「お客さまの満足度を高め 集客につなげる モノづくりワークショップの企画と運営」</p> <p>aspen grove（アスペングローブ）代表 福本 ミカ様 ワークショップ コンシェルジュ</p>
参加費	1,000円（当日）

→ 第49回 海老名サロン

日時	平成31年3月29日（金）午後3時より
場所	神奈川県中小企業センター6階 大研修室（JR関内駅徒歩約3分）
内容	<p>中小企業における外国人労働者の確保と活かし方</p> <p>講師 柳館 亮一氏 ユリーカ国際行政書士事務所長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人サポーター各種ビザ申請、帰化申請等 ・会社設立サポート他
参加費	3,500円 交流会「とりろう」（関内駅前）

※ どちらのイベントも詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

- 1. 川異研通信..... 2 ページ
 - 2. 閑中閑話..... 4 ページ
- 巻末 第79回「西湘サロン」のご案内
 第49回「海老名サロン」のご案内

→ 【川異研通信】

10月定例会（国内視察会）

当研究会では毎年10月に視察会を実施している。今年度は10月19日（金）～20日（土）会員10名の参加を得て、福岡県（北九州市、福岡市博多区）を視察した。

【19日（金）】

羽田空港より約1時間半のフライトで福岡空港に到着。空港からはマイクロバスで初日の視察地である北九州市へ向かった。「ものづくりのまち」として知られる北九州市は1960年代には高度成長の代償として多くの公害問題に直面した。

その後自治体と企業、人々が一体となり、環境改善に取組み「国連グローバル500賞」を国連より受賞するまでになり、見事にその「公害の街」から「環境の街」として生まれ変わった。私たちが訪れた際も素晴らしい秋晴れの空が出迎えてくれた。



視察のガイド役として北九州商工会議所の牛島氏が同行してくださり、最初の視察先である「TOTOミュージアム」を訪れた。当ミュージアムは「TOTO(株)」の創立100周年を記念して開設された資料館である。

同社の「ウォシュレット」はトイレの温水洗浄便座「ウォシュレット」と言う商品名が呼称として定着しているが、同館は単にトイレをはじめとする水まわり製品を紹介するだけではなく、創業の精神や歴史を次世代へと継承することを目的としている。国産第1号の洋式便座や1回の洗浄に使う水の量が3.6リットルの最新型の便器、洗面化粧台、また1964年にホテルニューオータニへ納入した日本初となるユニットバスルームなど、約950点が展示されている。TOTOが果たしてきた役割やTOTOのものづくりへの想いが伝わるミュージアムであった。

続いて産業用ロボットで世界第4位のシェアを誇る(株)安川電機中間工場を視察した。こちらの工場は2015年8月稼動開始。中・大型産業用ロボットの部品加工から組み立てまでを一貫生産している様子は圧巻であった。また環境配慮への取り組みとして、ドライアイスブラスト洗浄や水溶性塗料の採用によりVOC排出量の大幅な削減を実現しているそうで、ここでも環境への配慮がなされた姿勢が貫かれている。残念ながら工場内の写真は紹介できな

いが、13,346 m²の工場では月産900台を誇ることを証明するかのようになり、複雑に駆動する様子やロボットアームやパーツセンターからの配膳、組立、試験、塗装、組合せ試験、出荷まで、一連の工程が効率的な生産ラインとなっていた。

初日の最後は世界遺産登録（2015年）された「遠賀川水源地ポンプ室」である。約100年前に当時の八幡製鉄所（現新日鐵住金株）で使用する工業用水確保のために操業された。明治建築のレンガ建造物で、現在も稼働している。

懇親会は九州各地の活魚が味わえる名店「博多料亭稚加榮」にて鮮度抜群の食事をいただき、会員の親睦を図った。

【20日（土）】

2日目は、福岡市内（博多区）を視察した。福岡市は川崎市とほぼ同じ人口規模（158万人）で政令指定都市の中では人口増加率第1位となっている。特に博多、天神地区が増加しているようで、活気のあるその魅力の一端を街歩きにて感じてみた。

案内役は福岡市観光案内ボランティア（公益財団法人福岡観光コンベンションビューローより派遣）の矢口氏であった。スタートは「博多町家ふるさと館」である。こちらは福岡市の指定文化財に登録されていて「博多町家」、明治中期の博多織織元の町家を移築復元されている。明治から大正の時代の博多の暮らしや文化を紹介しており、博多の歴史、伝統などが感じられた。

「櫛田神社」が近くにあり、こちらの境内には700年の歴史ある「博多祇園山笠」（櫛田神社祇園例大祭）の「飾り山笠」が展示されていて、その見事な造形と力強さに圧倒された。続いて博多座からキャナルシティ博多までをつなぐ、およそ400メートルのアーケードに約100店舗が並ぶ川端商店街を視察。商店街の一角にある「川端ぜんざい広場」には年間を通して山笠が展示されていた。博多人形や豚骨ラーメンなど博多の味の飲食店などがあり、アーケードには、博多弁番付が下がっていて皆、それぞれ意味を考えながら散策した。

案内役の矢口氏の軽妙なトークと、詳しい情報の提供で約2時間のコースを堪能することができた。

昼食前に公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの峰氏より、同財団法人の事業概要の説明を受けた。福岡市と周辺地域との連携のもと、観光客・コンベンションの誘致・振興を図り、国際、国内観光の振興による地域経済の活性化を行っているとの事であった。

午後はキャナルシティ博多を視察した。こちらは22年前にカネボウ工場跡地に建設された巨大商業施設で43,485 m²の敷地施設内にショッピングモール、レストラン、シネマコンプレックス、ホテル、オフィスビルなどからなる大型複合施設である。中央ステージでは、世界各国のストリートパフォーマンスやライブが日々行われ、無料で観覧できる。当日は音楽に合わせて踊る噴水「ダンシングウォーター」が多く家族連れやカップルで賑わっていた。

以上予定の視察を終了し、福岡空港を発ち、羽田空港に定刻通り到着し解散した。

→ 閑中閑話

まずは報告から。2月6・7・8日の三日間パシフィコ横浜で開催される「テクニカルショウヨコハマ2019」に今年もイグレンが出展します。昨年と同じ加工技術の分野で「まんてんプロジェクト」と隣り合わせのO-05のブースです。今回は昨年以上の会員の皆様からご賛同をいただき出展にこぎつけることが出来ました。皆さん是非足をお運びください。

スポーツ界から元気の出る報告が届いています。女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープンに続いて全豪オープンに優勝し世界四大大会の二つを制覇、世界ランキング一位に。

大相撲初場所で、34歳の関脇玉鷲が初優勝。努力と精進が大きな結果をもたらす証しとして心から祝福したい気持ちです。

アジア・カップが闘われているサッカーでは、アジアNO1の実力と評されるイランを相手に日本チームは3-0で圧勝し決勝に進出、2大会ぶり5度目の優勝を目指します。

さて、目を転じて我々の近将来を左右する安倍首相の施政方針演説に目を通してみました。気になったのは「1はじめに」の中で、明治天皇が日露戦争のさなかの1904年に詠んだ「しきしまの 大和心のをゝしきは ことある時ぞ あらわれにける」を明治、大正、昭和、平成の時代を生き抜いてきた日本人の底力を表すものとして引用していることです。

阪神淡路大震災、東日本大震災という自然災害と戦争という「人為的被害」を同レベルで捉える時代認識は、暢気というにはあまりにも危ない気がするのは筆者だけでしょうか。

(愛賢司)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛 賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第79回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：平成31年3月11日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL :0465-24-6611)

【会費】：参加費1,000円（当日）

* 次回 80回予定：平成31年5月13日（月）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題：「お客さまの満足度を高め 集客につなげる
モノづくりワークショップの企画と運営」

aspen grove（アスペングローブ）代表 福本 ミカ様

ワークショップ コンシェルジュ

福本さんは、ワクワクをつなぐものづくりをモットーに、ワークショップの企画や運営を行っておられます。東急ハンズでの顧客満足度満点の事例などを元に、失敗談も交えお話しして頂きます。

現在では寄木細工からインスピレーションを受けた、木の色で生活を彩る「kinoiro」シリーズを展開。小田原・箱根との関わりについてもお伝えします。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL :0465-24-6611）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

Tel & Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()

第 49 回海老名サロン開催要領

深刻な「人手不足」を背景に、外国人労働者受け入れの「規制緩和」を目的とした「出入国管理法改正案」が昨年暮れに国会で成立・公布されました。この法案は、厚生労働省の関連データ改ざんや法案の中身が不明確で、具体的な内容は後で決めるというかなり杜撰な法律で、国会でも大問題になりました。

性別、人種・国籍等の違いを認め合い、多様性を前提とした企業活動を進めていこうというダイバーシティが、中小企業でも検討課題になっています。
改めて、中小企業における外国人労働者の問題を考えてみましょう。

I. 日 時 3月29日(金)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

III. 進 行 (時間配分は質疑も含む目安です)

1. 資料確認等

(3時～3時15分)

2. 報 告

(3時15分～4時30分)

「中小企業における外国人労働者の確保と活かし方」

講 師 柳館 亮一氏 ユリーカ国際行政書士事務所長

- ・外国人サポートー各種ビザ申請、帰化申請等
- ・会社設立サポート他

(1) 外国人労働者の現状

(2) 「出入国管理法」改正の動向

(3) 外国人労働者雇用の課題

(4) 雇用時の際の会社が必要とする手続き

3. 質疑・討論

(4時30分～5時)

IV. 交流会 「とりろう」(関内駅前) 参加費 3,500円

① サロン (出席 欠席) ②交流会 (出席 欠席)

ご本人以外のお席者方のご芳名・ご職名

* F A X 0 4 5 - 2 2 8 - 7 3 3 1